様式第２号

企業等における結婚支援促進事業

企業の従業員向けアンケート質問書

令和２年11月

岩手県保健福祉部子ども子育て支援室

**企業等における結婚支援**

**企業の従業員向けアンケート**

岩手県保健福祉部子ども子育て支援室

アンケートの目的について

　未婚化、晩婚化の進行や、子育てや教育に係る経済的な負担、育児に対する心理的、肉体的負担などにより、子どもを持つことを躊躇していることや、個人の価値観の変化など、様々な要素が複雑に絡み合う中で、少子化が進んでいます。

県では、仕事と子育てを両立するための働き方改革や女性活躍支援を進めるとともに、結婚、出産、子育て等に関する情報を切れ目なく提供し、社会全体で子どもを生み育てやすい環境づくりを推進することとしております。

本調査は、今後県が民間企業等と連携して、企業等における結婚支援を取り組むための資料を得るため、県内企業の状況を把握するとともに、その経営者と従業員双方の意識、ニーズをさぐるためのアンケート、訪問調査を行って、企業で行なう結婚支援活動に係る経営者と従業員との認識の違いの有無などを明らかにするとともに、企業等における結婚支援を考えてもらう機会となることを目的に、結果を取りまとめて公表しようとするものです。

趣旨を御理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

「企業等における結婚支援」について

　企業が、結婚を望む未婚従業員に対する出会いの機会の紹介や、婚活に必要な時間を得るための休暇を与えるなどの取組をすることを想定しています。

「結婚を望む」とは、未婚従業員からの自発的な意思の表示を想定しており、企業側からは情報提供など緩い働きかけを想定しています。

企業内での指揮命令の関係を背景に未婚従業員に強く働きかけることや、企業内における特定の未婚従業員を指名して、引き合わせる等の動きは想定していません。

訪問調査について

　本アンケートに応じていただいた企業の中から、対応いただける企業に対して、回答内容の趣旨確認、回答された内容の背景など、書面で把握できない内容の聞き取りを企業の経営者、現場長、マネジャー層と従業員代表者の双方から行い、調査結果に反映することとしています。

企業等における結婚支援　企業の従業員向けアンケート

１　あなたの年齢・性別について最もあてはまるもの１つに○を付けてください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 19歳以下 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代以上 |
| 男性 |  |  |  |  |  |
| 女性 |  |  |  |  |  |

２　婚姻（事実婚を含む）経験はありますか。差し支えなければ最もあてはまるものを１つ選択してください。

(1)　婚姻中

(2)　過去に婚姻経験あり

(3)　婚姻経験なし

３　現在婚姻中ではない方に伺います。今後婚姻したい気持ちはありますか。差し支えなければ最もあてはまるものを１つ選択してください。

(1)　ある

(2)　どちらともいえない

(3)　ない

(4)　わからない

(5)　その他（記述　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

４　県や市町村、民間団体が共同で負担金を拠出し、いきいき岩手支援財団が運営している「“いきいき岩手”結婚サポートセンター「ｉ－サポ」」を知っていますか。どちらかを選択してください。

(1)　知っている

(2)　知らない

５　「ｉ－サポ」では、他の人に会わずにお相手探しやお見合いができる環境を整え、低額の会費で紹介を行っています。このような事業についてどのように思いますか。最もあてはまるものを１つ選択してください。

(1)　興味があるので入会したい

(2)　興味があるので詳しく知りたい

(3)　興味はあるが、人に知られると嫌なので、抵抗感がある

(4)　そういうシステム自体に抵抗感がある

(5)　全く興味がない

(6)　その他(記述　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（次ページあります）

６　県では、市町村と連携し、結婚を希望する人へ出会いの場を創出する「“いきいき岩手”結婚サポートセンター「ｉ－サポ」」の運営など、結婚支援の取組をしていますが、県の取組をあなたはどう感じていますか。最もあてはまるものを１つ選択してください。

(1)　必要な取組

(2)　どちらかといえば必要な取組

(3)　何とも思わない

(4)　あまり必要のない取組

(5)　不要な取組

(6)　わからない

(7)　その他（記述　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

７　県が策定した総合計画「いわて県民計画」では、民間企業に対して「社員の出会いや結婚を支援する機運の醸成、環境づくりの役割を期待する」としています。企業や事業所が、未婚の従業員に対して結婚支援を行うことを、あなたはどう感じていますか。最もあてはまるものを１つ選択してください。

(1)　必要な取組（１，２のいずれかを選択した方は設問８をお答え願います）

(2)　どちらかといえば必要な取組（１，２のいずれかを選択した方は設問８をお答え願います）

(3)　何とも思わない

(4)　あまり必要ない取組（４、５いずれかを選択した方は、設問９をお答え願います）

(5)　不要な取組（４、５のいずれかを選択した方は、設問９をお答え願います）

(6)　わからない

(7)　その他（記述　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

８　設問７で（１）、（２）のいずれかを選択した方に伺います。企業や事業所が、未婚の従業員に対してどのような結婚支援を行うことが必要ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

(1)　企業の経営者や上司が従業員の結婚を応援する旨の宣言や公表

(2)　婚活に係る特別休暇を設ける

(3)　企業が未婚従業員へ「ｉ－サポ」に関する情報提供や、利用を推進

(4)　未婚従業員が利用する「ｉ－サポ」や民間結婚相談所の会費を助成

(5)　未婚従業員向けの婚活イベント・セミナーの企画・開催

(6)　企業内で未婚従業員の結婚について世話を焼く人を配置

(7)　自社の未婚従業員と他社の未婚従業員とのマッチング機会を設ける

(8)　その他（記述　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（次ページあります）

９　設問７で（４）、（５）のいずれかを選択した方に伺います。その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

(1)　結婚は従業員の個人の問題であると考えているため

(2)　通常業務が多忙であるため

(3)　企業内に未婚者が少なく必要性を感じていないため

(4)　結婚支援より従業員のワークライフバランス向上に関する取組を優先的に実施する必要があるため

(5)　企業が従業員の結婚の問題に踏み込むことは、パワハラ又はセクハラにつながると考えるため

(6)　その他（記述　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

１０　結婚を望む人が希望をかなえられる社会にするために重要なことは何だとお考えですか。あてはまるものをすべて選択してください。

(1)　適当な相手にめぐり会える機会を増やすことへの支援がある

(2)　異性とうまくつきあうためのスキルを得られる機会

(3)　残業時間や、休日出勤を減らす

(4)　結婚費用（挙式や新たな住まい、新たな生活準備等）に対する支援

(5)　男女がともに仕事と家庭生活のバランスが取れる働き方

(6)　その他（記述　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

１１　あなたが行政に期待する結婚支援について、あてはまるものをすべて選択してください。

(1)　安心できる婚活イベントやセミナー開催情報の提供

(2)　行政主催の婚活イベント・セミナーの実施

(3)　結婚支援センター「ｉ－サポ」の設置運営を継続

(4)　SNS等を積極的に活用した結婚支援に関する情報提供

(5)　経営者等に結婚支援の必要性をテーマとしたフォーラム開催や結婚支援業の表彰・認証制度を創設する等、企業が結婚支援に取り組むことの重要性を啓発する

(6)　企業の結婚支援の参考となるガイドブック等の作成・配布

(7)　婚活イベントを行いたい企業同士のマッチング仲介

(8)　企業が独自に行っている結婚支援の取組への助成金の支出

(9)　企業や個人の結婚支援を行う拠点となる結婚支援センターの設置

(10)　行政が結婚支援をすることに期待していない

(11)　その他（記述　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）